

## 令和3年度(2021年度) 建築物環境配慮制度(省エネ)届出状況のまとめ

札幌市では、環境に配慮した建築物の推進を目的に建築物環境配慮制度を条例で定めています。この資料は、令和3年度(2021年度)に届出のあった延べ面積 300 m<sup>2</sup>以上 2,000 m<sup>2</sup>未満の住宅・建築物の省エネによる自己評価の結果をまとめたものです。

### 1 令和3年度(2021年度)の届出の概要

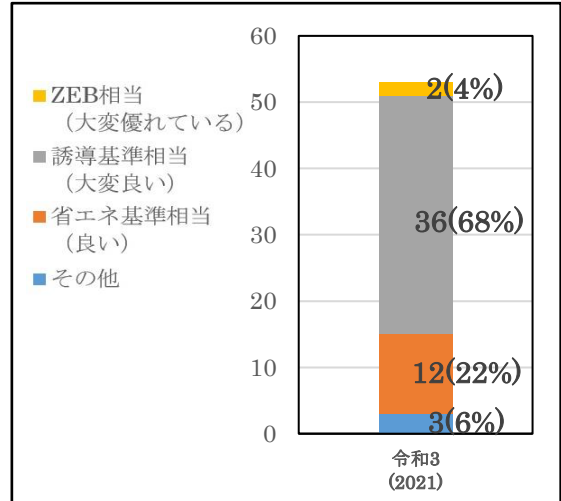
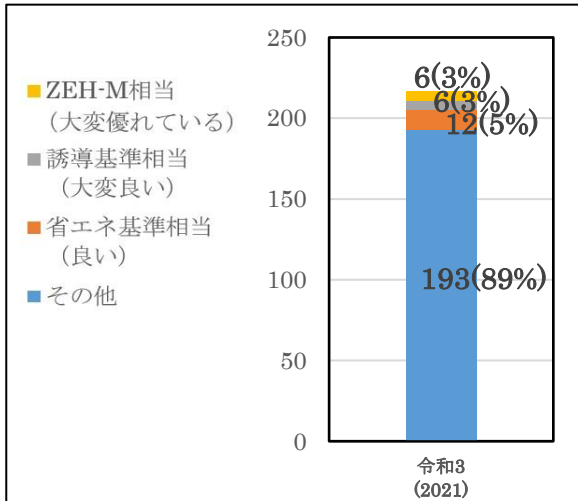
- ・ 届出数は 270 件あり、住宅は 217 件、建築物は 53 件となりました。
- ・ 大変優れている ZEH-M 相当の届出は 6 件、ZEB 相当の届出は 2 件となりました。
- ・ 住宅は、省エネ基準を満たしていない「その他」のランクが最も多く 193 件の 89%となり、建築物は、「誘導基準相当(大変良い)」のランクが最も多く 36 件の 68%となりました。

住宅のランク別件数

年度	令和 3 (2021)
ZEH-M 相当: 大変優れている	6(3%)
誘導基準相当: 大変良い	6(3%)
省エネ基準相当: 良い	12(5%)
その他	193(89%)
合計	217(100%)

建築物のランク別件数

年度	令和 3 (2021)
ZEB 相当: 大変優れている	2(4%)
誘導基準相当: 大変良い	36(68%)
省エネ基準相当: 良い	12(22%)
その他	3(6%)
合計	53(100%)



### 2 住宅の構造別の省エネ性能のランクについて

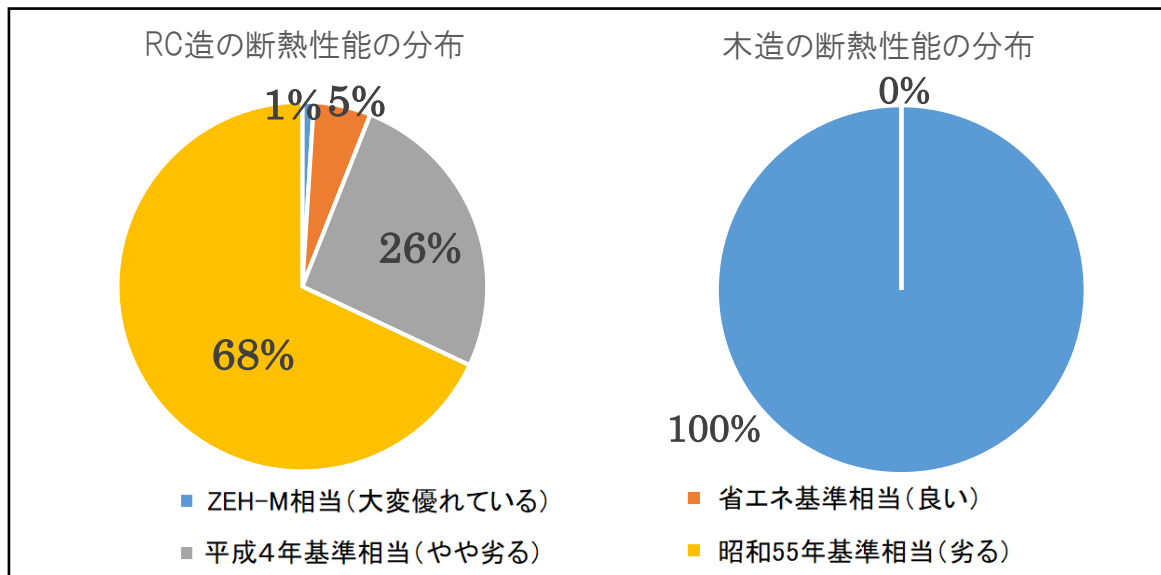
- ・ 住宅の構造別の件数は、RC 造 202 件(93%)、木造 15 件(7%)と、RC 造が 9 割を占め、木造は RC 造に比べ、高い省エネ性能のランクの届出が多い傾向にありました。

構造別	RC 造	木造	合計
ZEH-M 相当: 大変優れている	2	4	6
誘導基準相当: 大変良い	3	3	6
省エネ基準相当: 良い	4	8	12
その他	193	0	193
合計	202(93%)	15(7%)	217(100%)

### 3 住宅の構造別の断熱性能(BEI 代表住戸の UA 値)のランクについて

- 住宅の構造別の断熱性能は、木造は、「ZEH-M相当(大変優れている)」のランクが15件の100%となり、高い断熱性能のランクの届出が多い傾向にありました。
- RC造は、「昭和55年基準相当(劣る)」のランクが138件の68%と最も多く、「平成4年基準相当(やや劣る)」のランクが52件の26%となり、低い断熱性能のランクの届出が多い傾向にありました。

構造別	RC造	木造	合計
ZEH-M相当 : 大変優れている(UA値 0.40 以下)	2(1%)	15(100%)	17
省エネ基準相当 : 良い(UA値 0.46 以下)	10(5%)	0	10
平成4年基準相当 : やや劣る(UA値 0.54 以下)	52(26%)	0	52
昭和55年基準相当 : 劣る(UA値 0.72 以下)	138(68%)	0	138
合計	202(100%)	15(100%)	217

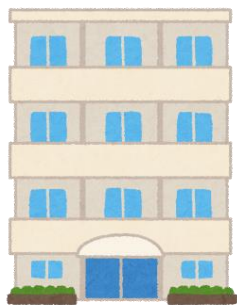


### 4 建築物の用途別件数、省エネ性能のランクについて

- 用途別件数は、事務所が15件と最も多く、次いで病院の12件、学校が10件でした。
- 省エネ性能のランクは、事務所がZEB相当2件、誘導基準相当13件と高い省エネ性能のランクの届出が多い傾向にありました。

ランク	ZEB相当 (大変優れている)	誘導基準相当 (大変良い)	省エネ基準相当 (良い)	その他	合計
事務所	2	13	0	0	15
学校	0	8	2	0	10
物販店	0	6	1	1	8
飲食店	0	2	3	0	5
集会所	0	1	1	0	2
工場	0	0	0	1	1
病院	0	6	5	1	12
ホテル	0	0	0	0	0
合計	2	36	12	3	53

# 住宅・建築物の省エネのランクの定め方について



住宅	ZEH-M 相当※3	誘導基準 相当※3	省エネ基準 相当※3	その他
住棟でのBEI※1	0.80以下	0.90以下	1.00以下	左記以外
代表住戸のUA値※2 (W / (m <sup>2</sup> ・K) )	0.40以下	0.46以下	0.46以下	左記以外



建築物	ZEB 相当※3	誘導基準 相当※3	省エネ基準 相当※3	その他
建物全体でのBEI※1	0.50以下 (10,000m <sup>2</sup> 以上は、 事務所・学校・工場は0.60以下、 ホテル・病院・物販店・ 飲食店・集会所は0.70以下)	0.80以下	1.00以下	左記以外

※1 BEIとは、その地域で標準的に建てた場合の冷暖房・換気・照明・給湯等のエネルギー消費量に比べ、どのくらい設計した対象の建築物のエネルギー消費量が省エネになっているかを示す値で、**1を標準として、より数字が小さいほど省エネな住宅・建築物**となります。

※2 代表住戸のUA値とは、集合住宅の最も多い間取りの住戸における熱の逃げやすさを示す値で、**0.46 (W / (m<sup>2</sup>・K) ) を標準として、より数字が小さい方が熱が逃げにくく、暖かい(涼しい)住宅**となります。

※3 ZEH-M・ZEB・誘導基準・省エネ基準の定義は、国のロードマップや建築物省エネ法を参考にしています。